

臨床研究「患者固有コリメータを使用した陽子線治療スキャニング照射法の線量分布改善効果の検討」
について

筑波大学附属病院陽子線治療センターでは、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究の目的は、患者固有コリメータを使用することによって、新陽子線治療装置の照射法であるスキャニング照射の線量分布を改善させることです。線量分布が改善することにより、正常組織に照射される陽子線の範囲を小さくし、陽子線治療を受ける患者さんの有害事象の低減が期待できます。

② 研究対象者

2020年4月から2023年1月に、当院で放射線治療を行ったがん患者さん。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後 ～ 2026年3月31日。

④ 研究の方法

この研究は観察研究であり、患者さんの陽子線治療に使用された治療計画 CT 画像を使用して行います。新陽子線治療装置に対応した治療計画装置で線量計算を行い、患者固有コリメータを使用することによる線量分布改善効果を評価します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

この研究では、陽子線治療に使用された治療計画 CT 画像を使用します。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
所属・責任者名：陽子線医学利用研究センター（氏名）河野 千恵
電話番号：029-853-7100 (PHS:96226)

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
所属・担当者名：陽子線治療センター（氏名）河野 千恵
電話番号：029-853-7100 (PHS:96226)（平日 8:30～17:15）